

## 第4期湖山池水質管理計画の策定に係るパブリックコメントの実施結果について

令和5年2月14日  
水環境保全課

鳥取県と鳥取市では、湖山池の水質浄化対策を総合的かつ計画的に推進する「第4期 湖山池水質管理計画」を策定するに当たり、広く県民の意見を求めるためパブリックコメントを実施したので、その結果を報告する。

### 1 意見の募集期間

令和4年11月28日（月）から12月19日（月）まで（22日間）

※ホームページや応募フォームを活用したパブリックコメントのほか、県立福祉人材研修センターで開催した住民説明会（12月3日）や関係団体との意見交換（湖山池漁業協同組合、鳥取商工会議所青年部、鳥取市観光コンベンション協会等）により意見を伺った。

### 2 応募のあった意見と対応方針

#### (1) 意見の件数

50件（31名）

#### (2) 主な意見と対応方針

分野	意見の内容	対応方針	区分
水質	塩化物イオン濃度が夏から秋にかけて上昇しているが、適切な水門操作をすれば、水質改善につながるのではないかと。	塩化物イオン濃度については、湖山池将来ビジョンに定める目標の範囲内(2,000 mg/L～5,000 mg/L)に収まるよう、水門操作により適正に管理している。 これまでの経験や水質シミュレーションを基に、より水質改善につながる水門操作を検討するとともに、IoT等のデジタル技術を活用した水門操作の自動化、遠隔化等により、きめ細やかな水門操作を目指す。	盛込済
	過去10年間、汚濁負荷の流入量は減少したが、全窒素と全りんの数値は以前より上がっている。原因を分析して水質改善を図っていただきたい。	全窒素と全りんの数値の上昇は、夏場の貧酸素化の長期化が原因と思われる。 汽水化後に蓄積された湖内の水質や水門管理データを活用し、水門開閉と水質変動の関係をシミュレーションにより予測し、湖内の貧酸素化を軽減する方法を検討する。	盛込済
生態系	ヤマトシジミの資源増大に期待している。シジミの漁獲量300トン達成（令和13年度）するためには漁場拡大が必要である。	漁場の拡大に向けて漁業者と協力してヤマトシジミの生息域の清掃を行い、漁場に適した環境整備を進めてきた。 今後も、持続的に漁業が発展できるよう協力して漁場の拡大を進めていく。	反映する
利活用	青島の自然を活用したフィールドアスレチックがあれば、親子連れの憩いの場となるはず。	湖山池周辺の自然や各施設は市民の憩いの場として親しまれており、民間の活力を活用しながら、多くの市民が集い、憩い、安らげる環境を整備していく。	反映する
	福井公園、つづらお城跡などの遊歩道、木製の階段や柵などが老朽化して危険な箇所が増えているので、再整備を検討してほしい。	湖山池周辺には公共施設や教育施設などが立地しており、レジャー、イベント、環境教育等様々な目的に活用できるよう、今後も休憩施設や遊歩道等の適正な維持管理に努める。	盛込済 （一部追記）
	情報発信が弱い。湖山池を知ってもらうためにコマースを作るなど、PRをしてはどうか。	県内外へPRする方法としてYouTubeチャンネルの活用に加え、観光団体が運営するホームページ及びFacebookなど各種SNS等、様々な情報媒体を用いて、情報発信を行う。	盛込済 （一部追記）
管理計画全体	水質管理計画期間の10年は長い。計画期間中に目標値を変更する必要性もあると思うので、住民の意見を聞きながら見直しも検討されてはどうか。	各施策の計画的な推進と目標達成を図るため、住民、有識者等の意見を伺いながら、湖山池会議で毎年点検を行うとともに、計画の中間年（令和9年度）に中間評価を行い、施策や目標等について必要な見直しを行う。 今後、湖山池サロン、出前説明会等の意見交換会には地域住民・関係団体に限らず、幅広く参加いただき、継続的に意見を伺うように努める。	盛込済 （一部追記）

### 3 今後の予定

令和5年2月 第4回湖山池会議（計画策定）

3月 第4期湖山池水質管理計画の公表